芦高新聞

發行所
芦屋市宮町立
芦屋高等學校新聞部
兵庫町

總務部直属
理髪部
毎週水・木・金放課後営業
[芦屋高校生にて購入]
絶対無料・設備完全

建設の基礎固るか
校友會活動活潑化

この地に居を定めてよりもう半歳をすぎ今や新校舎は日に日に形態を整へ運動場は二十日に着工と市が確約してゐる。この中にあつて校友會の活動は今までに比を見ぬ程一段的に活潑化し、目的の確然としなかつた部ももはやもはや見られなくなつたもはや見られなくなつた。校長先生の言はれる芦高建設十年計畫の基礎はほゞ築かれつゝあるのであらう。

會友校

豫算會議に不平の聲はつきもので あるが、今谷先生の講義による「現代詩の展開」川端康成の「伊豆の踊子」瀧石の「心」を組にのせて部員各自の研究相互發表を行つてゐる。又、矢張り不明瞭な存在にあつた讀書倶樂部は總務部の下にあつて新聞部と圖書部に劃然と分れて各々その方向を明らかにして居り、圖書部は早速全生徒に對して希望を調査した。新しく認められた演劇部は文化祭までに三つの脚本は征服せんものともう有島武郎の「ドモ又の死」を熱心に練習してをり、今年の芦高の舞台は期待される運動部を見れば、ラグビー部の擡頭は往年の野球部の躍進ぶりを思はせるものがある。

これまで余り眼立たなかつた文化部が、今年度始まつて以來僅々二ケ月の中に各部とも熾んな働きを見せて内部的にも團結して來たのは意義的にか無意義的にか校友會特に文化部が（運動部はもはや取上る必要もなからう）次第に確固たる基礎を築かんとしてゐる現れであらう。

五月下旬初に棟上を終へた新校舎は釘を打つ鎚の一聲毎に完成に近づいてゐる。既に瓦は葺かれ廊下は張られ床の板も張られつゝある。今やこの建造物にほどこすべきは船で云ふ所謂窓とか扉の 飾装である。完成は七月中頃である。一方運動場は前号に報じた如く土地の買收は總て終つたが、市當局は二十日から整地作業に必ずとりかゝると約束してゐる。今年の運動會は三千坪の運動場で行はれるわけである。校友會などの活潑な働きと相まつて校舎、運動場の建設は芦高の力強い礎への事實上の第一段階である。

會運動場校舎

相變らずの空理空論
不活潑な學校自治會
統合問題決る

いよ〳〵六月三十日本校と縣三女との併設中學の交流が實現した。これは新教育目標の一つの具現である。趣旨はよいが實質は？と最も憂へて一般人の論が杞憂に終つて至るところに於て朗報が聞こえる程縣に遍れて もたらされ他縣に遍れて愈々縣下一圓に實施され今回の交流はその生徒の身分をはつきりと規るのであつて吾々は縣三から來る生徒諸君に對し最早や芦高生であることを深く認識しなければならない。男女共學問題に當つて次の樣なことが注意せられている。

1 交流する生徒は地域性を考慮すること
2 各クラスは完全なミックスたること
3 職員も適當に交流すべきこと、負擔は差支へない。
4 交流に當り職員、父兄、生徒代表により兩校の協議會を作つて決定すること
5 縣立學校には生徒の身分も變ること、（縣立、市立の場合は身分は變らない）
6 男女の身心、學力を考慮して敎授面に留意すること
7 交換の生徒數は少い

尙この際軍政部から舊制中等學校再編成については將來更に强化し昭和廿五年には完成すること が指令されてゐる、それが爲には

1 稅金で維持されてゐる縣學校には特殊な生徒の入學を許すといふ封建的慣習を排除する爲全公立學校は學校區を定めらるべきであること
2 新制高校の名稱は舊制度のナンバースクール は廢して、地理的或は特質德性を表はす校名とすること。

ルは廢して、地理的或は特質德性を表はす校名とすること。

學級數の方を標準とすること、從つて縣三が百五十名であるから人數は七十名前後の交換となる
8 男女生徒は自治會、校友會諸活動を統合すること

相變らずの空理空論
不活潑な學校自治會
統合問題決る

いよ〳〵六月三十日本校と縣三女との併設中學の交流が實現した。これは新教育目標の一つの具現である。趣旨はよいが實質は？と最も憂へて一般人の論が杞憂に終つて至るところに於て朗報が聞こえる程縣に遍れて もたらされ他縣に遍れて愈々縣下一圓に實施され今回の交流はその生徒の身分をはつきりと規るのであつて吾々は縣三から來る生徒諸君に對し最早や芦高生であることを深く認識しなければならない。男女共學問題に當つて次の樣なことが注意せられている。

1 交流する生徒は地域性を考慮すること
2 各クラスは完全なミックスたること
3 職員も適當に交流すべきこと、負擔は差支へない。
4 交流に當り職員、父兄、生徒代表により兩校の協議會を作つて決定すること
5 縣立學校には生徒の身分も變ること、（縣立、市立の場合は身分は變らない）
6 男女の身心、學力を考慮して敎授面に留意すること
7 交換の生徒數は少い

尙この際軍政部から舊制中等學校再編成については將來更に强化し昭和廿五年には完成すること が指令されてゐる、それが爲には

1 稅金で維持されてゐる縣學校には特殊な生徒の入學を許すといふ封建的慣習を排除する爲全公立學校は學校區を定めらるべきであること
2 新制高校の名稱は舊制度のナンバースクール は廢して、地理的或は特質德性を表はす校名とすること。

自治會 全生徒の支持なし
岸本副會長指摘

十七日の定例全校自治會の席上閉會もせまつた時に岸本副會長突然起つて自治會の現狀を遺憾として次の如く指摘した。

現今の自治會を見るに何ら發展進歩の形跡を見出すことが出來ない。それどころか退歩の姿さへ見られる自治會が生れた時の樂な熱意は發足全生徒の支持なくして自治會の運營は出來ない。

自治會は自治會としての意味をなしてゐない。自治會は生徒の中からそのの氣が盛上つて來たときに始めて運營しうるものであつて或る種の强制によつて爲し得るものではない。

徒の中にない即ちこの自治會の總意により風紀委員制の生れたことは誠に結構な事と思ふ。凡そ自治會の發展は善意見も出て、自由の裏附けある自治をも、自ら歸り去らんとしつゝあり、更に一般生徒の支持を受けて居らず、超越した存在として、空理空論に時を費してゐる有樣である。斯くの如き狀態では、勿論、自治會の役員が自由に行動出來ないのは、あたりまへの事であり、心ある者が、風紀委員制の實施を唱へるのも、之又當然の事である。

或る者曰く、「この度自治會の總意により風紀委員が、自治會會員全體の證行を監督する任務にあたうが、然らば會員の總意としつゝあり、更に一般生徒の支持を受けて居らず、超越した存在として、空理空論に時を費してゐる有樣である。斯くの如き狀態では、勿論、自治會の役員が自由に行動出來ないのは、あたりまへの事であり、心ある者が、風紀委員制の實施を唱へるのも、之又當然の事である。

要旨

現今の自治會を見るに何ら發展進歩の形跡を見出すことが出來ない。それどころか退歩の姿さへ見られる自治會が生れた時の樂な熱意は發足全生徒の支持なくして自治會の運營は出來ない。

自治會は自治會としての意味をなしてゐない。自治會は生徒の中からそのの氣が盛上つて來たときに始めて運營しうるものであつて或る種の强制によつて爲し得るものではない。

徒の中にない即ちこの自治會の總意により風紀委員制の生れたことは誠に結構な事と思ふ。凡そ自治會の發展は善意見も出て、自由の裏附けある自治をも、自ら歸り去らんとしつゝあり、更に一般生徒の支持を受けて居らず、超越した存在として、空理空論に時を費してゐる有樣である。斯くの如き狀態では、勿論、自治會の役員が自由に行動出來ないのは、あたりまへの事であり、心ある者が、風紀委員制の實施を唱へるのも、之又當然の事である。

或る者曰く、「この度自治會の總意により風紀委員制の生れたことは誠に結構な事と思ふ。凡そ自治會の發展は善意見も出て、自由の裏附けある自治をも、自ら歸り去らんとしつゝあり、更に一般生徒の支持を受けて居らず、超越した存在として、空理空論に時を費してゐる有樣である。斯くの如き狀態では、勿論、自治會の役員が自由に行動出來ないのは、あたりまへの事であり、心ある者が、風紀委員制の實施を唱へるのも、之又當然の事である。

說論

風紀委員制の語るもの

風紀委員制とは何ぞや？——曰く、校内の風紀を取り締る制度である。——自治會とは何ぞや？——曰く、本校生徒の親睦をはかり、校内自治の社會的訓練を保たんがために設ける機關である——言葉は異なれども、斯くの如く風紀委員制と、自治會とはその根本的精神から見ても、又活動の部面から見ても、何ら異なるところは、無いと云へる。然るに何故に今回風紀委員制と稱せられるものが、自治會の中に表れて來たか、？……風紀委員が、自治會會員全體の證行を監督する任務にあたうが、然らば會員の總意に依つて選出せられた自治會の役員は、一体何の爲に存在してゐるのか？單なる意見のまとめ役又は、敎師や生徒の小使としての存在價値しか無いものなのだらうか——自治會とは、我が校内自治會の良心となり、定められた正しい決議を忠實に、實行に移す機關である。然るに今回風紀委員制の實施を唱へる力すべき、重大なる責を負つて居るものと考へるべきである。

しかし、現今は、生徒空論に終始して終つた。氣の自覺とに云ふか、無氣力極まる生活態度によつて、自由の裏附けある自治をも、自ら歸り去らんとしつゝあり、更に一般生徒の支持を受けて居らず、超越した存在として、空理空論に時を費してゐる有樣である。斯くの如き狀態では、勿論、自治會の役員が自由に行動出來ないのは、あたりまへの事であり、心ある者が、風紀委員制の實施を唱へるのも、之又當然の事である。

風紀委員制とは
―解說―

昨年度の三學期に、風紀委員制が、自治會會員全體の證行を監督する任務にあたうが、然らば會員の總意としつゝあり、更に一般生徒の支持を受けて居らず、超越した存在として、空理空論に時を費してゐる有樣である。斯くの如き狀態では、勿論、自治會の役員が自由に行動出來ないのは、あたりまへの事であり、心ある者が、風紀委員制の實施を唱へるのも、之又當然の事である。

選出は、自治會役員の選出機關及び任務（既に決定）に從つて、風紀委員が選出され、風紀委員會が組織される。

風紀委員會は、自治會役員の會議に出席し、風紀委員會の意見を述べる權利を有する

今や酣の校友會活動
文化各部の進境著し

六月も已に中旬我が芦高校友會の活躍は特に絶頂の感がある。即ち先づ運動部を見るに野球部は近畿制覇成らずその優勝戰に於ける奮闘は延々九回立命の軍門に降つたとは云へ敗れて悔なき健闘であり現在全國第一の水準を誇る近畿球界に於ける第二位はまことに華々しきものである。又最近好調を誇るラグビー部居り運動部文化部双方の中心人物として氣を吐き又兵庫の雄灘中と互角に亘る軟式庭球部の勝來は近畿制覇成らずその優勝の意氣銃く連日猛練習の演劇部、經大主催討論會に望む辯論部、文藝方面より啓蒙を意圖する文藝部等その眞劍な學理探究の態度は運動部の華やかさはなくとも著々と芦高文化の創造への道を歩んで居る。又最近好調を誇るラグビー部居り運動部文化部双方の絶間なき前進こそは前進する芦高の縮圖である

縣會四府大二野球
近畿の覇權立命に
延々十九回に破らる
優勝戰

六月十三日

立命 6—2 芦屋

後も二死より作るチャンスに決定打なく兩軍合打の中に十九回を迎へた

立命 000 000 100 1
芦屋 000 100 000 0

立命田—苗村68 10 2 6 5 4 残10
芦有本—永田63 14 12 4 6 4 11

（經過）

終始有利に試合を展開したが榮田投手の緩球に決定打少く四回松本を荒木が返して一点を先取更に盤上にランナーをおけば迭つたが凡走の續出にチャンスを逸し七回二死より凡失に一点を與へ延長戰となつた十回以降は一進一退の投手戰となつたが十九回の熱戰を見ながら二つの事が感ぜられた。それは野球部も强くなつたものだという感嘆と、この試合は全く凡戰であつたということである、兩軍打手の巧妙なピッチングとこれを助ける決定打なきことがかくの如き延長戰を演じたと評してよい。相撲に勝つて勝負に負けたという言葉がぴつたり合うこの一戰について、何が故に敗れたかは選手諸君が深く反省しているところであらう。第一回一死二塁者木下がピッチャーとの一球に刺された時に「これではいかん」と馬塲に似た好意ある言葉が逡にこの試合に表はれていた。

灘高 100 000 000 1
芦屋 000 000 100 1

灘高 TGOOO 0—3 0
TGPGO 6—19 3—25 3
芦屋 200 前後

灘高 TGOOO 0—3 0
TGPGO 6—19 3—25 3
芦屋 200 前後

⊙灘高先發投手は四回宿敵灘高との西宮グランドに於て六回目の對戰を北高戰の經驗からフオワードの押しに重点を置いた。これが成功して、センシステムの灘高フオワードを徹底的に押しまくりボールをスクラムに確保し、更にバックスに存分の働きをさせ、更にバックスに存分の働きをさせ、更にバックスに存分の働きをさせ